

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年6月30日(2025.6.30)

【国際公開番号】WO2022/270540

【出願番号】特願2023-530091(P2023-530091)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/18(2006.01)

C 0 3 C 27/12(2006.01)

C 0 8 L 23/26(2025.01)

【F I】

C 0 8 J 5/18

C 0 3 C 27/12 Z

C 0 3 C 27/12 F

C 0 8 L 23/26

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月20日(2025.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アイオノマー樹脂組成物を含んでなる層を1層以上有する樹脂シートであって、

前記アイオノマー樹脂組成物を含んでなる層は、前記樹脂シートの少なくとも一方の表面を形成しており、

前記表面の、J I S K 6 7 6 8 に準拠して測定された接触角は60～75度であり、

前記アイオノマー樹脂組成物は、(メタ)アクリル酸単位(A)、(メタ)アクリル酸中和物単位(B)、およびエチレン単位(C)を含むアイオノマー樹脂、ならびに強酸および強塩基からなる塩を含んでなり、

30

前記単位(A)および前記単位(B)の合計含有量は、前記アイオノマー樹脂を構成する全単量体単位を基準として6～10モル%であり、

前記塩の含有量は、前記アイオノマー樹脂組成物の総質量を基準として1～400mg/kgである、樹脂シート。

【請求項2】

前記アイオノマー樹脂組成物を含んでなる層は、前記樹脂シートの両方の表面を形成しており、

前記両方の表面の、J I S K 6 7 6 8 に準拠して測定された接触角は60～75度である、

40

請求項1に記載の樹脂シート。

【請求項3】

前記アイオノマー樹脂はさらに(メタ)アクリル酸エステル単位(D)を含み、前記単位(A)、前記単位(B)および前記単位(D)の合計含有量は、前記アイオノマー樹脂を構成する全単量体単位を基準として6～10モル%である、請求項1に記載の樹脂シート。

【請求項4】

前記塩は、アルカリ金属および/またはアルカリ土類金属の金属塩である、請求項1に記載の樹脂シート。

50

【請求項 5】

前記塩は、ナトリウムイオンおよびカリウムイオンからなる群から選択される少なくとも 1 種のカチオンと、ハロゲンイオン、硝酸イオンおよび硫酸イオンからなる群から選択される少なくとも 1 種のアニオンとからなる塩である、請求項 1 に記載の樹脂シート。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の樹脂シートからなる合わせガラス中間膜。

【請求項 7】

2 つのガラス板と、該 2 つのガラス板の間に配置された請求項 6 に記載の合わせガラス中間膜とを有する、合わせガラス。

10

20

30

40

50